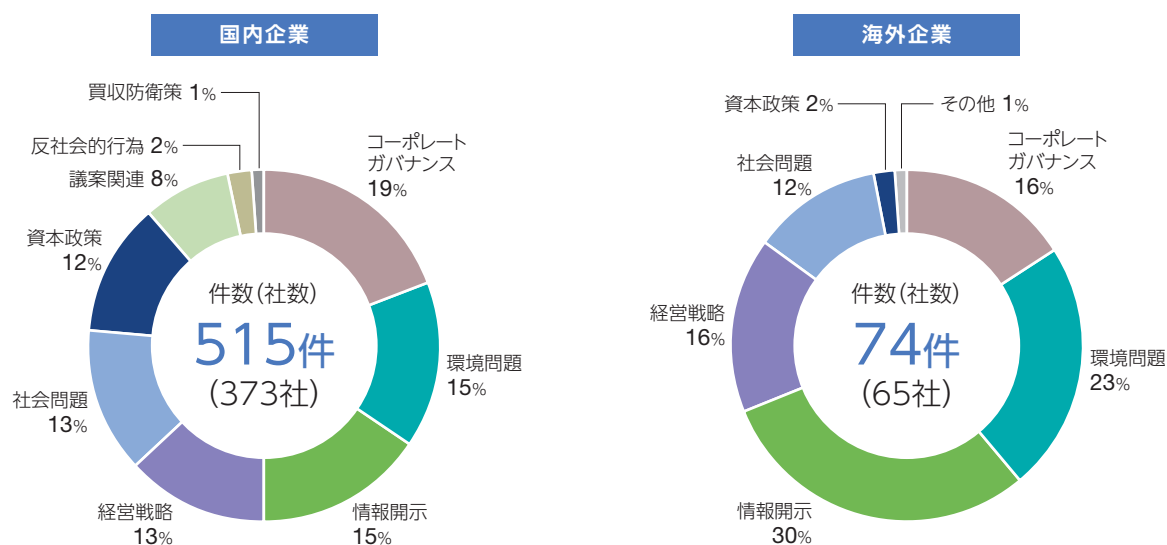


## ▶ 当社における対話・エンゲージメントの実績

2022年度(2022年7月~2023年6月)における当社の対話・エンゲージメントの活動実績は以下のとおりです。

### ■ 責任投資部(パッシブ運用)

責任投資部では、マテリアリティ(トップダウン)エンゲージメントに加え、個別企業の実態に即したボトムアップエンゲージメントも積極的に実施しています。また、株式運用部と協働で情報開示エンゲージメントを実施しています。



### ■ 株式運用部(アクティブ運用)

運用手法ごとに企業のリスクと機会に対する着眼点異なることから、主に企業実態に応じたボトムアップエンゲージメントを実施しています。また、責任投資部と協働で情報開示エンゲージメントにも注力しています。

	対話・エンゲージメント
件数(社数)	1,201件(538社)

### ■ 債券運用部(アクティブ運用)

株式と異なり議決権がない資金調達手段であることや、アップサイドよりもダウンサイドリスクが大きいという債券運用の特徴も踏まえ、債券発行体ごとの課題に応じたボトムアップエンゲージメントを実施しています。

	対話・エンゲージメント
件数(社数)	49件(42社)

当社が行う情報開示エンゲージメントの詳細は46ページ、株式運用部および債券運用部のエンゲージメント活動の詳細は、それぞれ48ページ、50ページをご参照ください。